



# IR説明会資料 (2013年3月期 第2四半期決算)

株式会社 極 洋 (1301)

<http://www.kyokuyo.co.jp>

## ■ 2013年3月期第2四半期概要説明

トピックス	3-5P
企業集団の状況	6P
決算概要	7-19P

## ■ 2013年3月期業績予想及び下半期方針

基本方針	21P
連結・個別業績予想	22-23P
事業セグメント別連結売上高・営業利益予想	24P
事業セグメント別方針	25-30P
投資計画	31P

(注)この資料における当初予想数値は2012年5月11日に公表した業績予想数値です。  
同じく、通期予想数値は同10月26日に公表した業績修正予想数値です。

# 2013年3月期 第2四半期概要説明

## ■ 創立75周年

- ①1937年(昭和12年)9月、極洋捕鯨株式会社として誕生  
捕鯨事業を中心とした漁撈会社としてスタート
- ②1971年(昭和46年) 株式会社 極洋に商号変更  
水産商事・加工食品を主力とした総合食品会社として成長
- ③2005年(平成17年) K&U Enterprise Co.,Ltd.  
青島極洋貿易有限公司  
2006年(平成18年) Kyokuyo Europe B.V. を相次いで設立  
グローバルカンパニーとして、歩みを進めております。



## ■ 「パワーアップキョクヨー 2015」スタート(4月)

キョクヨーグループの優位性を強化、拡充し、  
安心・安全で競争力のある商品の提供により、  
グループ企業価値の最大化を実現する。



『加工戦略』、『グローバル戦略』をさらに深化させると共に、  
拡大したグループ会社間の相乗効果を最大限発揮する為の  
『シナジー戦略』を加え、2015年3月期 売上高2000億、  
営業利益50億の目標達成に向けて取り組んでおります。

## ■ キョクヨーマリン愛媛(株)「本鮪の極」初出荷(9月)

○2010年5月、愛媛県愛南町に設立

○初年度活け入れ稚魚も順調に成育し、赤身の色目が濃く、脂がほど良くのった養殖臭が少ない「本鮪の極」が出荷されました。

○今期出荷計画

キョクヨーマリンファーム	280t
<u>キョクヨーマリン愛媛</u>	<u>240t</u>
計	520t



キョクヨーマリン愛媛漁場



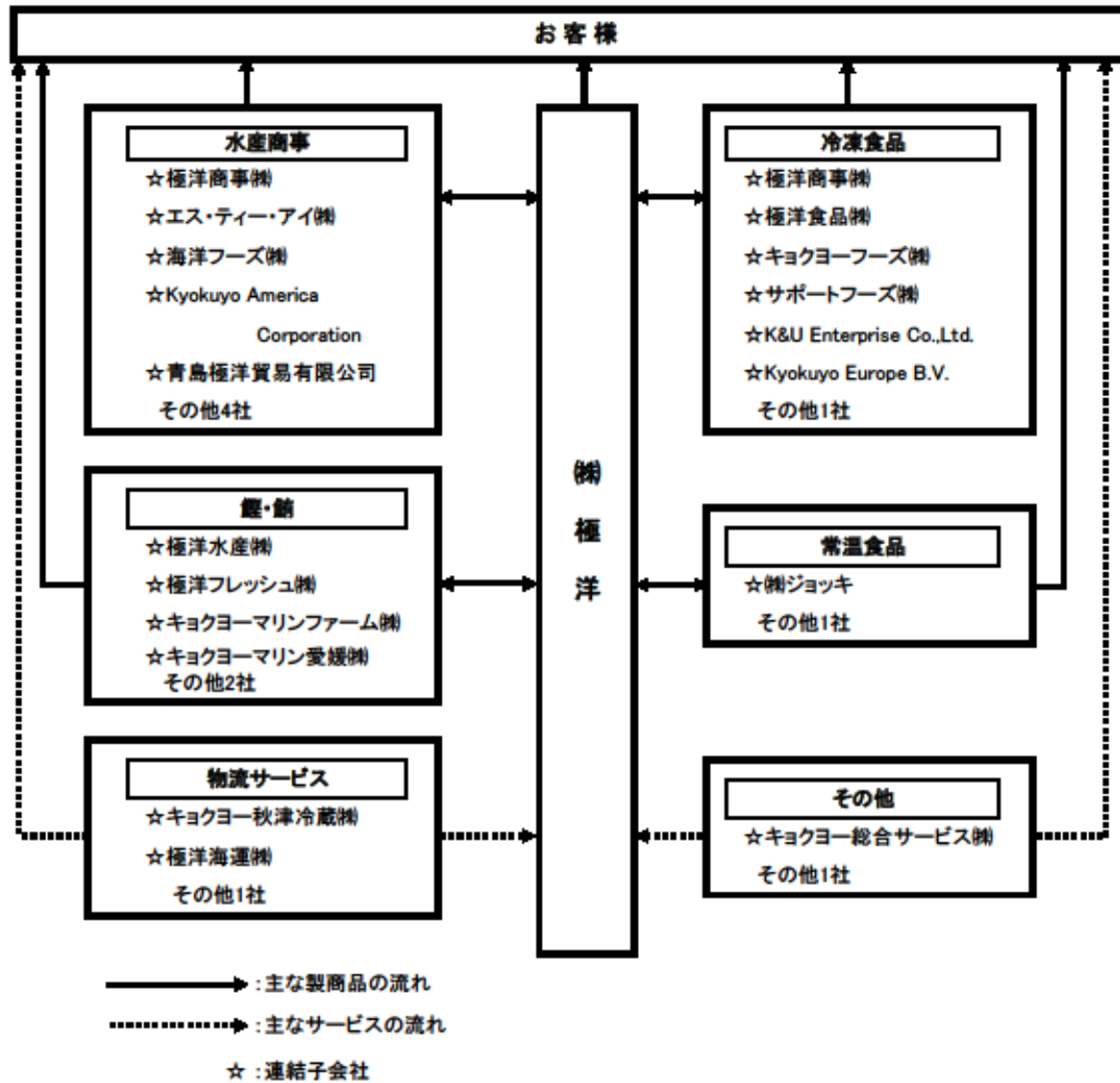
「本鮪の極」陸揚げの様子

## ■ CP増額発行(5月)

50億円→100億円



# 企業集団の状況(2012年9月末現在)



極洋及び連結子会社26社、関連会社2社より構成



# 2013年3月期 第2四半期決算概要

## 1. 連結損益計算書

### 前年同期比、当初予想比減収減益

(単位:百万円)

	12年3月期 第2四半期 累計期間	13年3月期 第2四半期 累計期間	前年同期比		13年3月期第2四半期	
			(増減金額)	(比率)	当初予想	(増減比率)
売上高	87,763	85,541	△ 2,222	△ 2.5%	90,000	△ 5.0%
営業利益	762	393	△ 369	△ 48.4%	1,100	△ 64.3%
営業外収益	478	428	△ 49	-	-	-
営業外費用	231	209	△ 21	-	-	-
経常利益	1,009	612	△ 396	△ 39.3%	1,050	△ 41.7%
特別利益	0	41	41	-	-	-
特別損失	3	45	41	-	-	-
税金等調整前 四半期純利益	1,006	609	△ 396	-	-	-
四半期純利益	386	160	△ 226	△ 58.6%	550	△ 70.9%

- ・売上高は、水産商事の落ち込みを他の事業でカバーできず、前年同期比減収。
- ・営業利益は、鰹・鮪事業が前年同期を上回るが、その他の事業は前年同期を下回り、前年同期比減益。
- ・営業外収益は、外国為替差益減。営業外費用は支払利息減。
- ・特別利益は、補助金収入など、特別損失は有価証券評価損など。
- ・四半期純利益は、前年同期比減益。





## 2. 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	資産の部		
	11年9月末	12年9月末	前年同期比
流動資産	65,935	63,910	△ 2,025
固定資産	20,364	19,632	△ 732
資産合計	86,300	83,542	△ 2,757
	負債の部		
	11年9月末	12年9月末	前年同期比
流動負債	60,197	58,067	△ 2,129
固定負債	9,032	8,841	△ 191
負債合計	69,229	66,909	△ 2,320
	純資産の部		
	11年9月末	12年9月末	前年同期比
純資産合計	17,070	16,633	△ 436
負債純資産合計	86,300	83,542	△ 2,757

### 主な増減内訳(対前年同期比)

#### 流動資産

[現金及び預金]	+2億円
[受取手形・売掛金]	+4億円
[たな卸資産]	△17億円

#### 固定資産

[有形固定資産]	△5億円
[投資その他の資産]	△1億円

#### 流動負債

[短期借入金]	△65億円
[コマーシャル ペーパー]	+50億円

#### 固定負債

[長期借入金]	△8億円
[退職給付引当金]	+7億円

#### 純資産

[利益剰余金]	△3億円
---------	------

## 3. 連結キャッシュ・フロー計算書

	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計会計の主な内訳	
営業活動による キャッシュ・フロー	(百万円) △7,723	(百万円) 2,003	税金等調整前四半期純利益	6億円
			売上債権減	10億円
			たな卸資産増	△7億円
			仕入債務増	7億円
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 430	△ 331	固定資産の取得	△5億円
財務活動による キャッシュ・フロー	7,719	△ 2,012	短期借入金純減	△58億円
			CPの増	50億円
			長期借入金の返済	△4億円
			配当金の支払	△5億円
現金及び現金同等 物に係る換算差額	△ 10	△ 2		
現金及び現金同等 物の増減額	△ 445	△ 342		
現金及び現金同等 物の期首残高	3,322	3,438		
現金及び現金同等 物の期末残高	2,877	3,095		



# 2013年3月期 第2四半期決算概要

## 4. 連結経営指標

	11年9月末	12年9月末	前年同期比
純資産	17,070百万円	16,633百万円	△436百万円
自己資本比率	19.5%	19.6%	0.1ポイント
商製品在庫金額	33,178百万円	30,110百万円	△3,068百万円
在庫回転日数	62.1日	64.1日	2.0日
有利子負債	488億円	463億円	△25億円
負債資本倍率(D/E レシオ)	2.8倍	2.7倍	△0.1ポイント
自己資本利益率(ROE)	2.3%	1.0%	△1.3ポイント
総資産経常利益率(ROA)	1.2%	0.7%	△0.5ポイント
売上高営業利益率	0.9%	0.5%	△0.4ポイント
1株当たり純資産	160円19銭	155円91銭	△4円28銭
1株当たり四半期純利益	3円68銭	1円53銭	△2円15銭

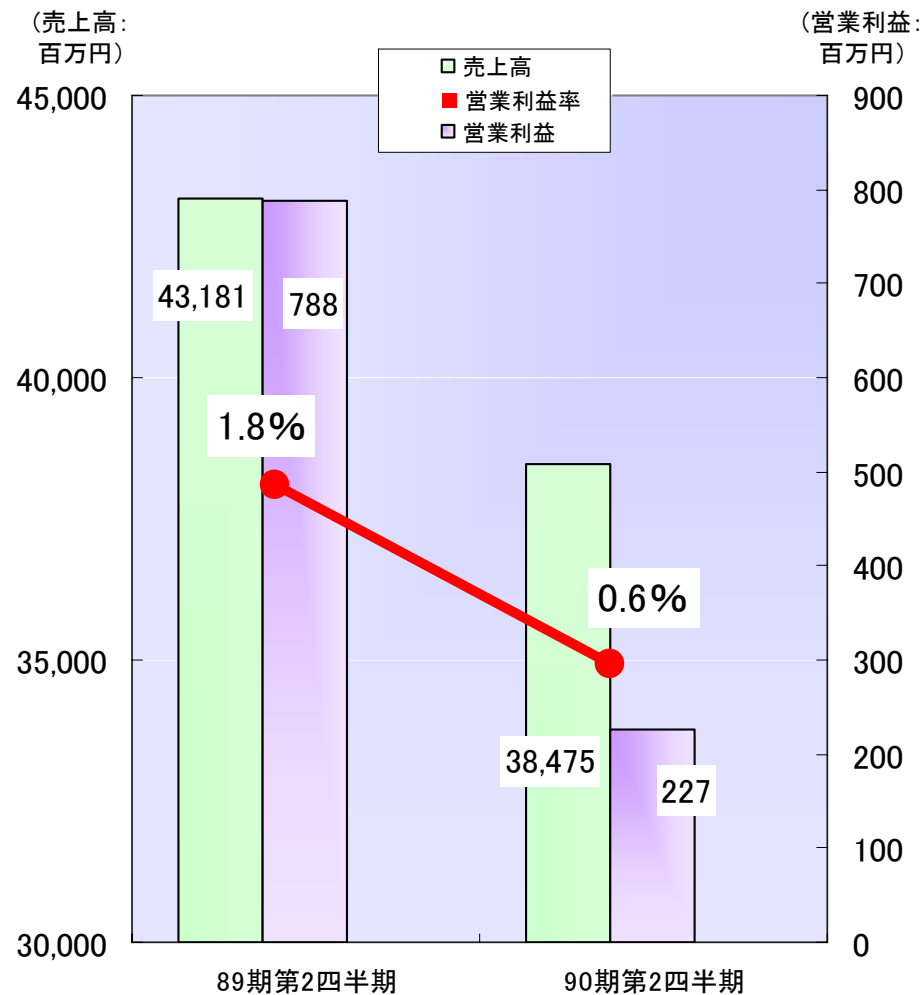
## 5. 事業セグメント別売上高・営業利益(前年同期比)

(単位:百万円)

	売上高			営業利益		
	12年3月期 第2四半期 実績	13年3月期 第2四半期 実績	前年同期比	12年3月期 第2四半期 実績	13年3月期 第2四半期 実績	前年同期比
水産商事	43,181	38,475	△ 4,705	788	227	△ 560
冷凍食品	22,968	23,689	721	214	98	△ 115
常温食品	6,730	7,478	748	78	36	△ 41
物流サービス	1,833	2,016	182	△ 231	△ 297	△ 65
鯉・鮪	13,012	13,846	834	104	528	423
その他・本部調整	36	34	△ 2	△ 191	△ 200	△ 8
合計	87,763	85,541	△ 2,222	762	393	△ 369

## 6. 事業セグメント別概況、売上高・営業利益・営業利益率

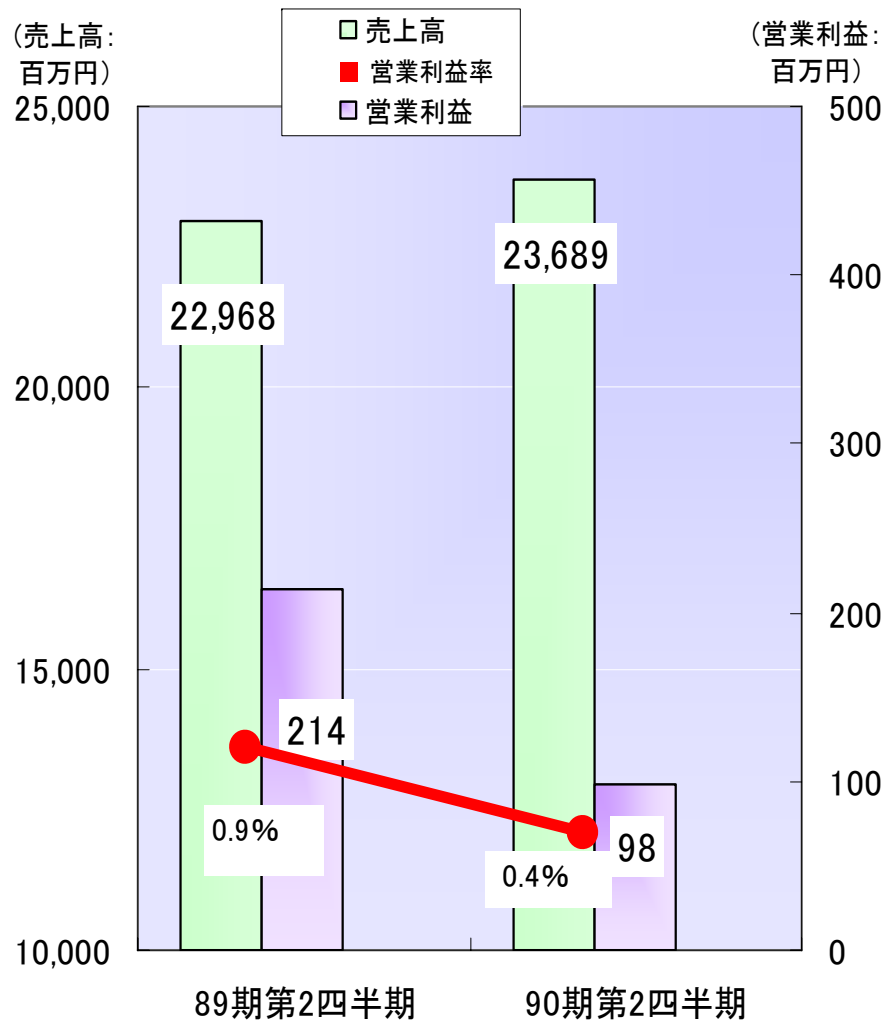
### (1) 水産商事事業—水産物の買付・販売



①チリ銀鮭の供給過剰などにより、水産物全般の市況が下落。

②冷凍魚の切身加工やエビ・カニの剥き身など加工を施した付加価値商品の販売に注力。

## (2) 冷凍食品事業—水産・調理冷凍食品の加工及び販売



### 【水産冷凍食品】

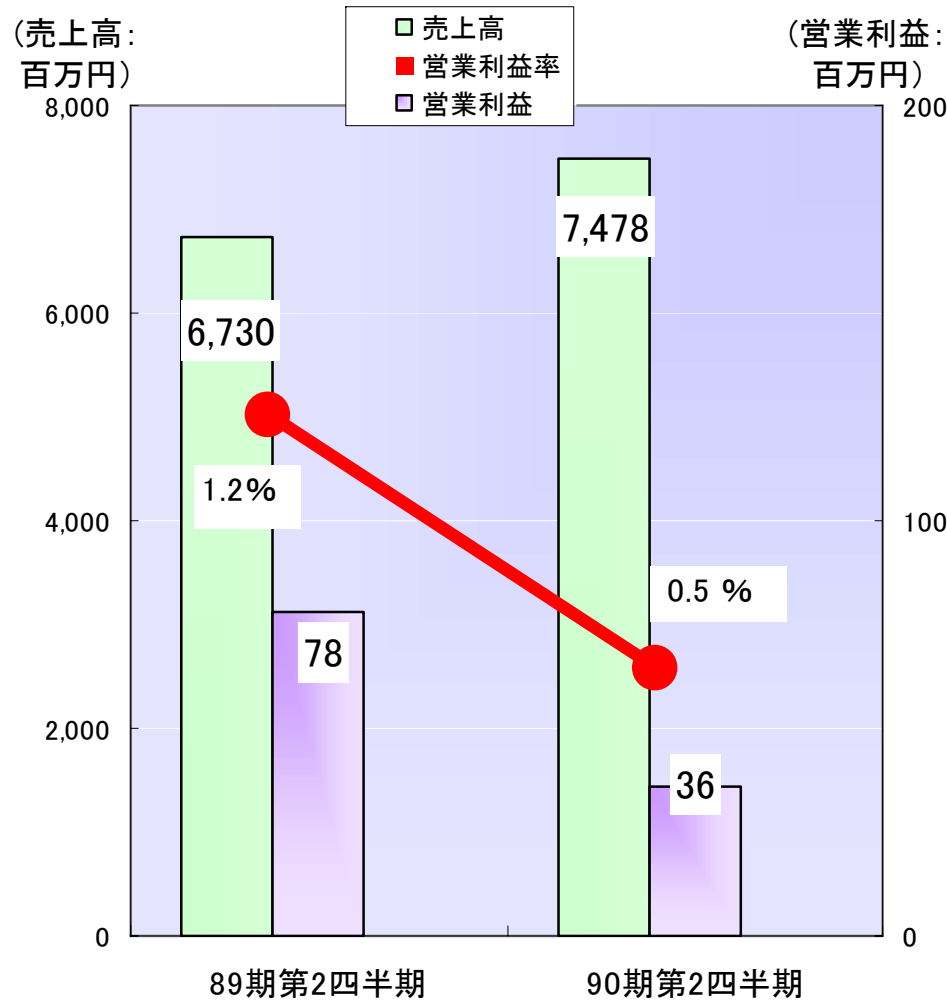
- ① 寿司種を中心とした生食用商品を  
 外食ルートに拡販。  
 前年同期比107% 96億円(鰹・鮪含)
- ② さばを中心とした骨なし切身、焼魚、  
 煮魚などを老健食や宅配ルート、  
 大手量販店向けに拡販。

### 【調理冷凍食品】

水産フライ類に加え、畜肉製品など惣菜類  
 を拡販。

水産冷凍食品、調理冷凍食品とも、  
 生産コストの上昇や販売競争が激化。

## (3) 常温食品事業一缶詰・練製品他の加工及び販売



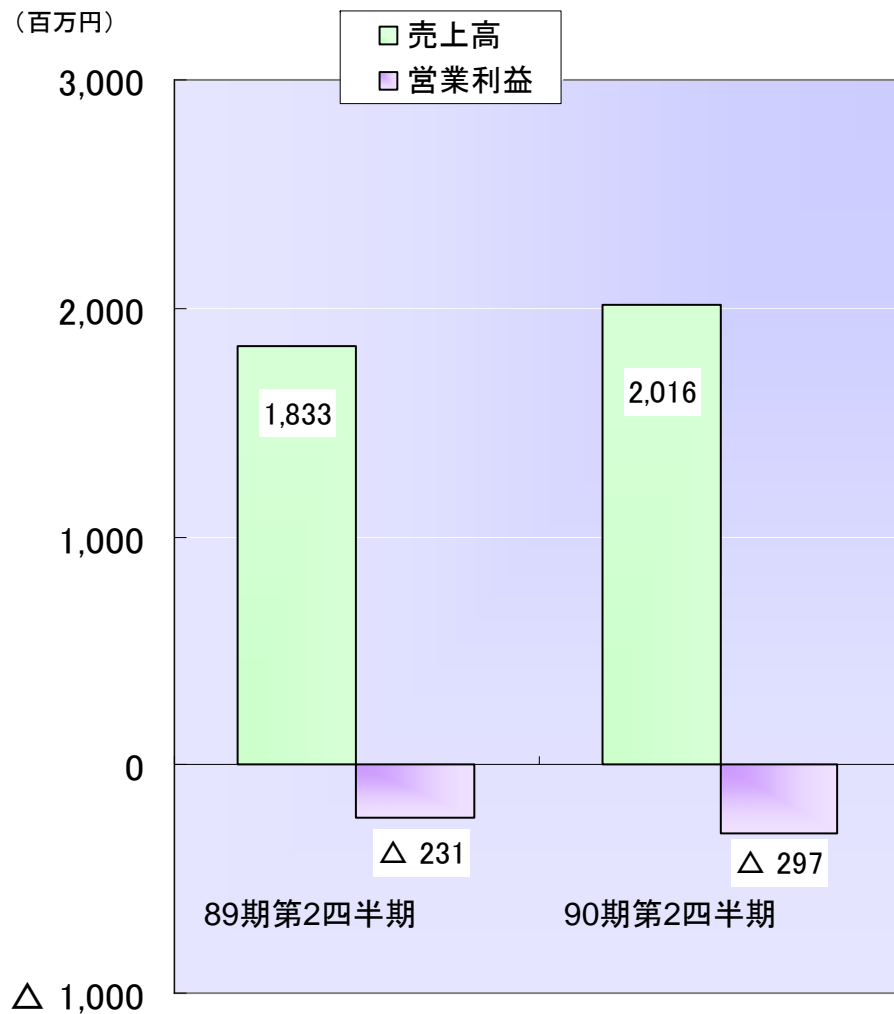
### 【缶詰】

震災で被災した協力工場の生産設備が復旧。  
 拡販に努めるも、ツナ缶、サバ缶などのコストアップにより収益ダウン。

### 【ドライフード・通信販売・健康食品】

ドライフード(海産珍味)は量販店やコンビニ向けに拡販。

## (4) 物流サービス事業—冷蔵倉庫事業・冷蔵運搬船事業



### 【冷蔵倉庫事業】

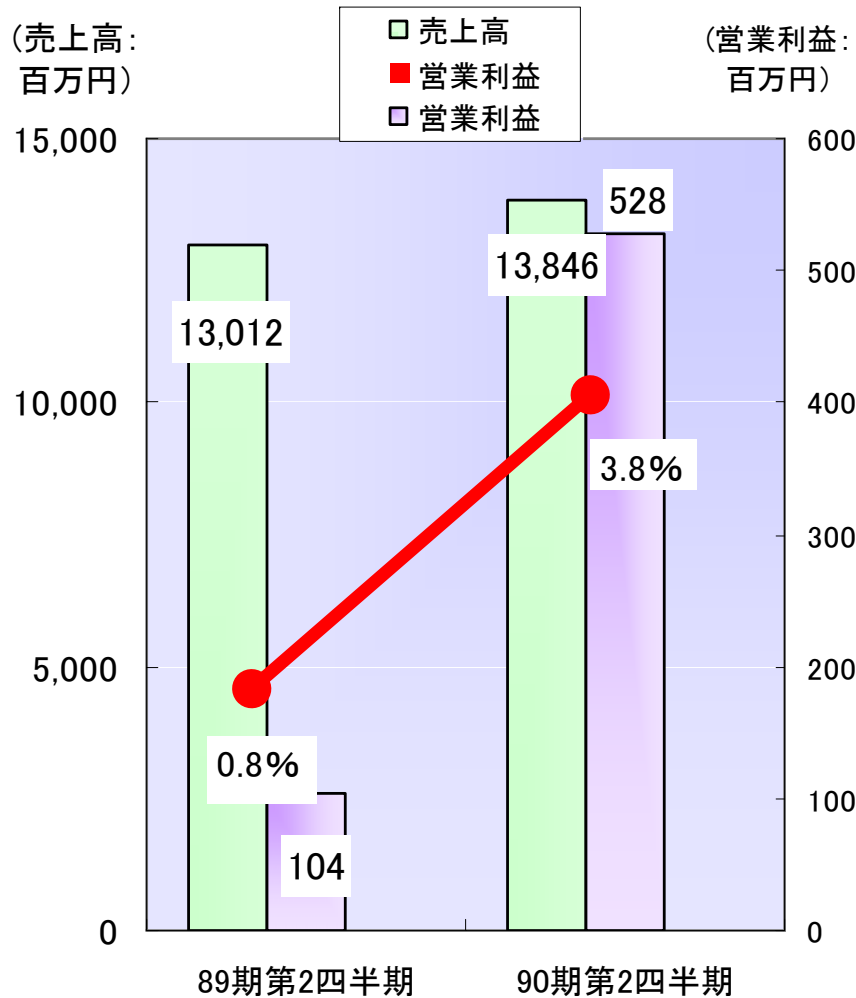
貨物の取扱増と事業の効率化に努めるも、経費増。

### 【冷蔵運搬船事業】

- ① コンテナ船との貨物獲得競争の激化や、欧州諸国の景気低迷などの影響により冷蔵運搬船市況の低迷継続。
- ② 燃料価格の高止まりや円高の継続。
- ③ 傭船契約の一部解除により、事業をスリム化。



## (5) 鯉・鮪事業－鯉鮪加工及び販売事業・海外まき網事業・養殖事業



### 【海外まき網事業】

漁獲数量、魚価とも前年同期を上回る。

	2011年9月	2012年9月	前年同期比
水揚数量(千トン)	11	16	5
水揚金額(億円)	18	31	13
単価(円/KG)	159	188	29

### 【養殖事業】

品質に対する評価も高く、また成育状況も順調。

### 【鯉鮪加工及び販売事業】

大手回転寿司チェーン、量販店などへ拡販するも、原料価格の高騰、製品価格競争が激化。

## 7. 個別損益計算書

### 前年同期比、当初予想比とも減収減益

(単位:百万円)

	12年3月期 第2四半期	13年3月期 第2四半期	前年同期比		13年3月期第2四半期	
			(増減金額)	(増減比率)	当初予想	達成率
売上高	79,887	76,546	△ 3,340	△ 4.2%	80,000	95.7%
営業利益	1,132	153	△ 978	△ 86.4%	1,000	15.3%
経常利益	1,269	353	△ 915	△ 72.1%	1,100	32.1%
四半期純利益	744	79	△ 665	△ 89.4%	700	11.3%

- ・売上高は、冷凍食品事業および常温食品事業は増収。水産商事事業および鰹・鮪事業は減収。
- ・営業利益は、水産商事事業、冷凍食品事業、常温食品事業、鰹・鮪事業とも減益。

## 8. [個別]魚種別品種別 売上数量・金額・単価

### (1)水産商事事業

(単位:数量:トン、金額:百万円、単価:円//KG)

	12年3月期 9月末			13年3月期 9月末			前年同期比		
	数量	金額	単価	数量	金額	単価	数量	金額	単価
鮭鱒	18,842	12,162	646	17,870	9,765	546	△ 971	△ 2,398	△ 99
南方魚	4,072	2,328	572	3,986	2,562	643	△ 86	234	71
北洋魚	22,613	10,399	460	19,628	8,095	412	△ 2,985	△ 2,305	△ 47
エビ	9,852	8,613	874	10,006	8,681	868	154	68	△ 7
カニ	1,261	2,256	1,790	1,543	2,493	1,616	282	237	△ 173
鯆鯖鱒	3,765	1,237	329	3,694	1,200	325	△ 71	△ 38	△ 4
魚卵	2,790	2,779	996	2,035	2,686	1,320	△ 756	△ 93	324
その他	3,227	2,282	707	3,866	2,124	549	639	△ 159	△ 158
計	66,422	42,057	633	62,629	37,605	600	△ 3,793	△ 4,452	△ 33

## (2) 冷凍食品事業

(単位:数量:トン、金額:百万円、単価:円/KG)

	12年3月期 9月末			13年3月期 9月末			前年同期比		
	数量	金額	単価	数量	金額	単価	数量	金額	単価
水産冷凍食品	16,338	14,409	882	17,933	15,545	867	1,595	1,136	△ 15
調理冷凍食品	12,975	7,050	543	12,866	6,998	544	△ 109	△ 52	1
計	29,313	21,459	732	30,799	22,543	732	1,486	1,084	0

## (3) 常温食品事業

(金額:百万円)

	12年3月期 9月末	13年3月期 9月末	前年同期比
缶詰・珍味製品他	4,483	5,201	718

## (4) 鯉・鮪事業

(単位:数量:トン、金額:百万円、単価:円/KG)

	12年3月期 9月末			13年3月期 9月末			前年同期比		
	数量	金額	単価	数量	金額	単価	数量	金額	単価
鯉鮪(買付・加工品)	11,992	11,486	958	11,752	10,803	919	△ 240	△ 683	△ 39

# 2013年3月期業績予想及び 下半期方針

## 1. 下半期 基本方針

最大の需要期である年末商戦に向けて、  
加工戦略・グローバル戦略・シナジー戦略を  
推進し、目標達成に全力を挙げる。

- ☆ 水産商事事業、鰹・鮪事業の在庫管理の徹底
- ☆ 冷凍食品事業：CVS、宅配、老健食ルートの拡販  
常温食品事業：商品開発力の強化
- ☆ 冷蔵運搬船事業の効率的な配船、より好条件の契約獲得に注力
- ☆ 市販冷食事業への進出に向けた準備
- ☆ 財務体質強化：キャッシュ・フローの改善、有利子負債の削減

## 2. 連結業績予想

### 前期比減収増益、当初予想比減収減益

(単位:百万円)

	通期予想(13年3月期)			当初予想(13年3月期)比			対前期(12年3月期)比		
	上半期実績	下半期予想	通期予想	当初予想	当初予想との増減額	当初予想との増減率	前期実績	前期との増減額	前期との増減率
売上高	85,541	89,459	175,000	185,000	△ 10,000	△ 5.4%	181,885	△ 6,885	△ 3.8%
営業利益	393	1,607	2,000	3,200	△ 1,200	△ 37.5%	1,636	364	22.2%
(営業利益率)	0.5%	1.8%	1.1%	1.7%	-	-	0.9%	-	-
経常利益	612	1,588	2,200	3,100	△ 900	△ 29.0%	1,707	493	28.9%
(経常利益率)	0.7%	1.8%	1.3%	1.7%	-	-	0.9%	-	-
当期(四半期)純利益	160	940	1,100	1,800	△ 700	△ 38.9%	423	677	160.0%
1株当たり当期(四半期)純利益	1円53銭	8円94銭	10円47銭	17円14銭	△6円67銭	-	4円03銭	6円44銭	-

- ・通期業績予想は、第2四半期までの落ち込みをカバーするまでには至らない見通しから、平成24年10月26日に当初予想から売上、利益とも下方修正しました。前期実績との比較では減収増益を見込みます。

## 3. 個別業績予想

### 前期比減収増益、当初予想比減収減益

(単位:百万円)

	通期予想(13年3月期)			当初予想(13年3月期)比			対前期(12年3月期)比		
	上半期実績	下半期予想	通期予想	当初予想	当初予想との増減額	当初予想との増減率	前期実績	前期との増減額	前期との増減率
売上高	76,546	81,454	158,000	166,000	△ 8,000	△ 4.8%	165,737	△ 7,737	△ 4.7%
営業利益	153	947	1,100	2,300	△ 1,200	△ 52.2%	1,809	△ 709	△ 39.2%
(営業利益率)	0.2%	1.2%	0.7%	1.4%	-	-	1.1%	-	-
経常利益	353	1,047	1,400	2,300	△ 900	△ 39.1%	1,881	△ 481	△ 25.6%
(経常利益率)	0.5%	1.3%	0.9%	1.4%	-	-	1.1%	-	-
当期純利益	79	821	900	1,400	△ 500	△ 35.7%	672	228	33.9%
1株当たり 当期純利益	0円76銭	7円81銭	8円57銭	13円33銭	△4円76銭	-	6円40銭	2円17銭	-

- ・通期単独予想は、連結同様当初予想から売上高、利益とも下方修正しました。
- ・上半期の不振をカバーするまでには至らず、売上高、営業利益、経常利益は前年同期を下回ります。





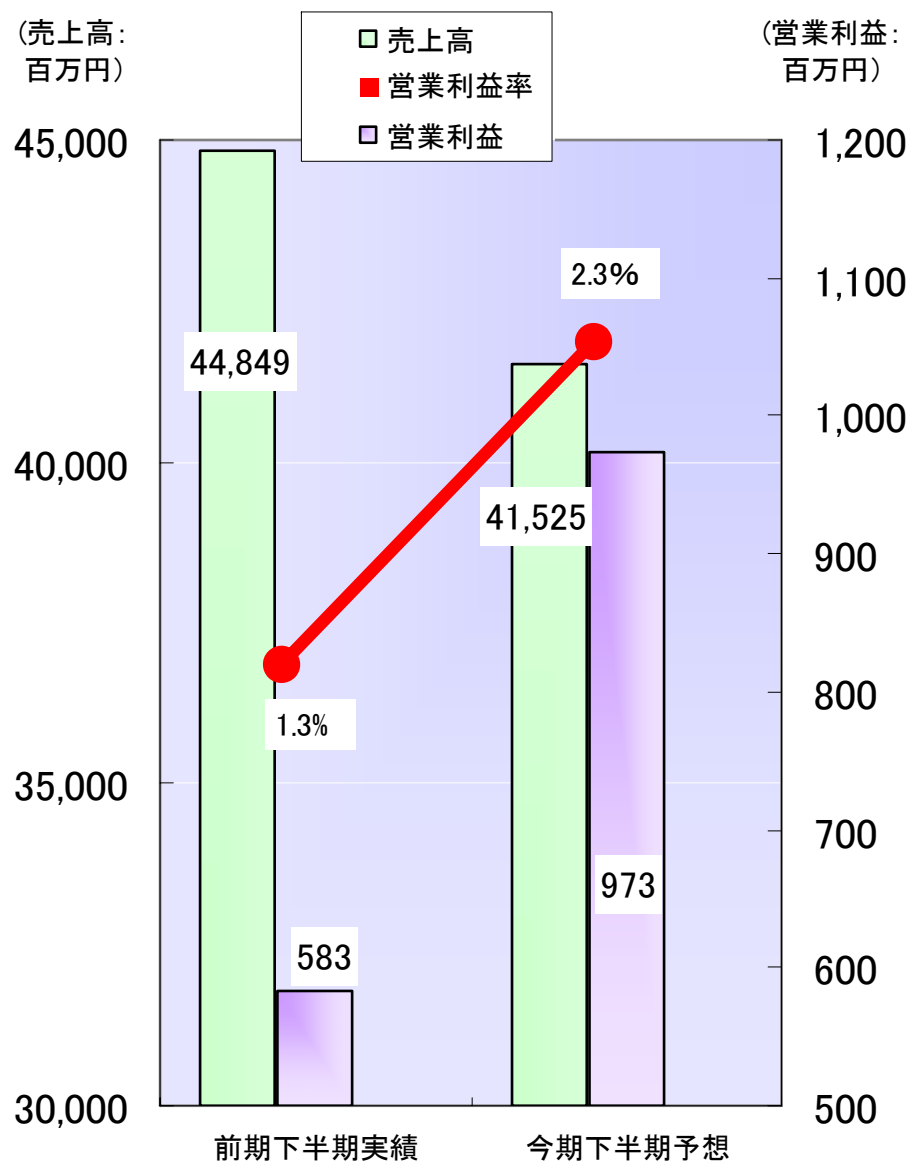
# 2013年3月期業績予想及び下半期方針

## 4. 事業セグメント別売上高・営業利益予想

(単位:百万円)

	売上高							営業利益						
	上半期		下半期		通期			上半期		下半期		通期		
	当期実績	前期実績	修正予想	前期実績	修正予想	前期実績	当初予想	当期実績	前期実績	修正予想	前期実績	修正予想	前期実績	当初予想
水産商事	38,475	43,181	41,525	44,849	80,000	88,030	88,000	227	788	973	583	1,200	1,371	1,700
冷凍食品	23,689	22,968	25,311	25,672	49,000	48,640	50,000	98	214	402	332	500	546	950
常温食品	7,478	6,730	7,522	7,650	15,000	14,380	15,000	36	78	164	152	200	230	350
物流サービス	2,016	1,833	1,484	1,691	3,500	3,524	4,000	△ 297	△ 231	△ 3	△ 619	△ 300	△ 850	△ 200
鯉・鮪	13,846	13,012	13,654	14,219	27,500	27,231	28,000	528	104	472	530	1,000	634	950
その他・本部調整	34	36	△ 34	41	0	77	0	△ 200	△ 191	△ 400	△ 104	△ 600	△ 295	△ 550
合計	85,541	87,763	89,459	94,122	175,000	181,885	185,000	393	762	1,607	874	2,000	1,636	3,200

## 【水産商事事業】



### ①付加価値商品の開発と販売ルートの開拓

- ・南北凍魚・・・カレイ類、赤魚、鯖
- ・鮭 鱒 ……定塩、塩麹漬け、スモークサーモン  
刺身サーモン
- ・カニ ……剥き身
- ・海老 ……伸ばし海老、むき海老、生食海老

### ②市況動向に即した迅速かつ的確な対応

- ・タイムリーな買付
- ・在庫管理の徹底

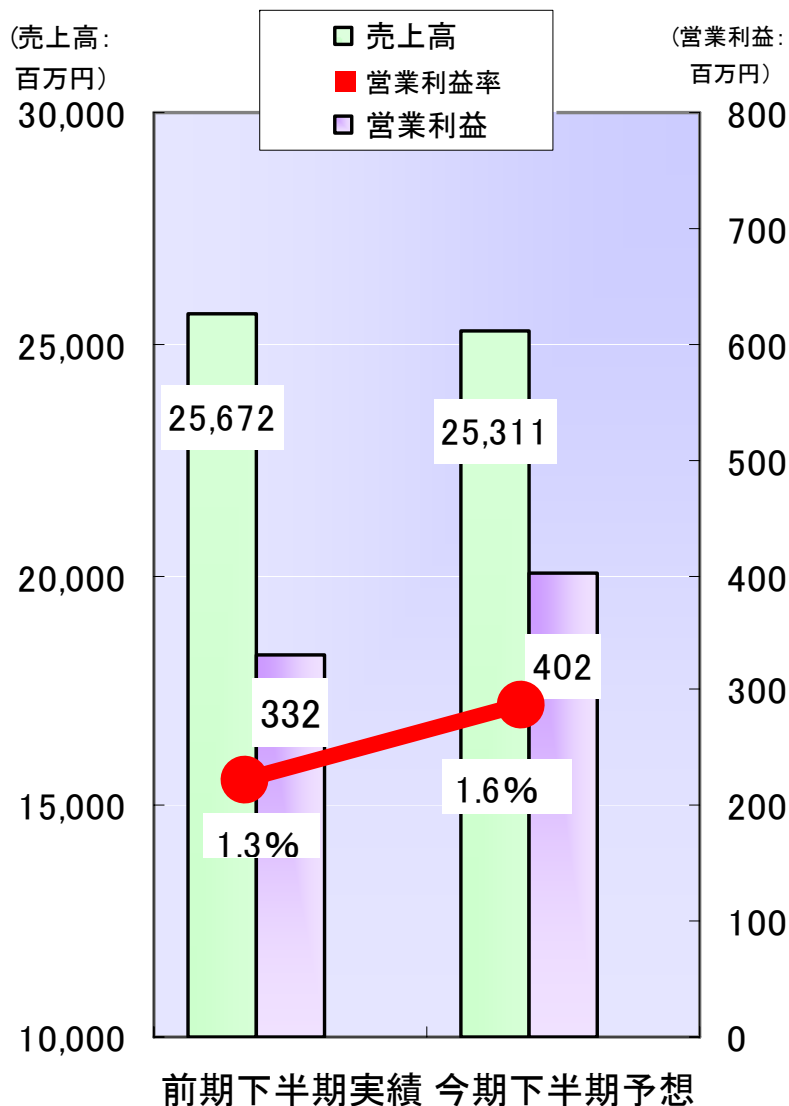
### ③安心・安全な商品の安定供給

- ・海外加工製品の安心・安全の徹底
- ・カントリーリスクへの対応

### ④各事業、関係会社との協業によるシナジー効果の発揮

- ・原料供給面でのシナジー効果
- ・販売面でのシナジー効果

## 【冷凍食品事業】 年末商戦への注力による収益力強化



### 【水産冷凍食品事業】

#### ① 寿司種生食商品の販売

(今期売上目標215億円<鰹・鯖含>)

- ・国内大手ユーザーとの取組強化と新規販売ルートの開拓
- ・海外ルート(欧米、アジア等)の売上拡大
- ・商品開発力の強化

#### ② 加熱用商品の販売

- ・コンビニ、老健食、宅配ルート等への深耕
- ・生産工程の見直し、製造指導の強化等による製品コストの低減

### 【調理冷凍食品事業】

#### ① 直系工場製品の生産効率向上と拡販

#### ② 海外製品等価格訴求品の売上拡大

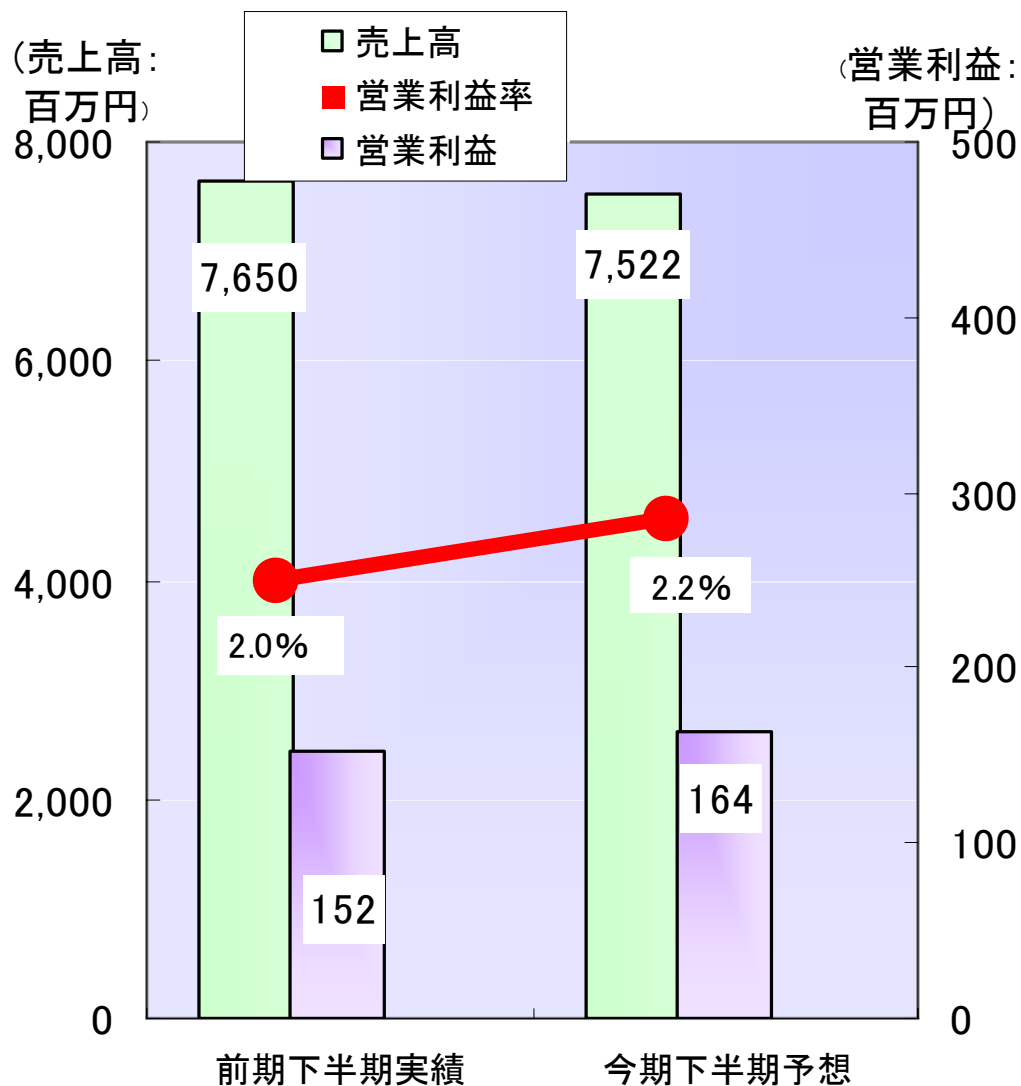
#### ③ コンビニ、老健食、宅配ルート等への深耕

#### ④ 商品開発力の強化

### 【市販冷凍食品事業への進出に向けた準備】

- ①商品 ②販売チャネル ③生産工場

## 【常温食品事業】



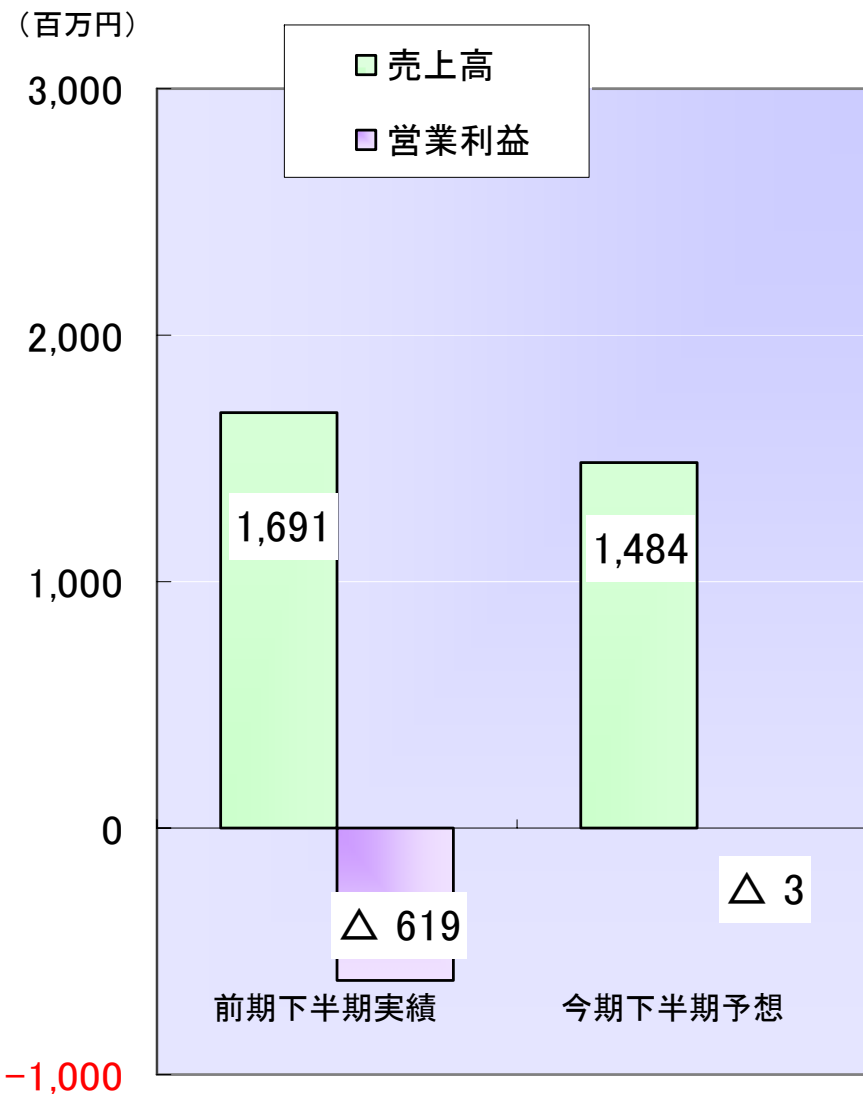
### ①シナジー戦略

- ・海外まき網船わかば丸漁獲原料使用によるツナ缶「ライトミート PREMIUM」の拡販
- ・グループ会社で連携した量販、CVSルート向け拡販
- ・ドライフード(海鮮珍味)の新商品開発

### ②西日本地域の販売ルート拡大

- ・新規ルート開拓と既存ルート拡大のスピードアップ

## 【物流サービス事業】



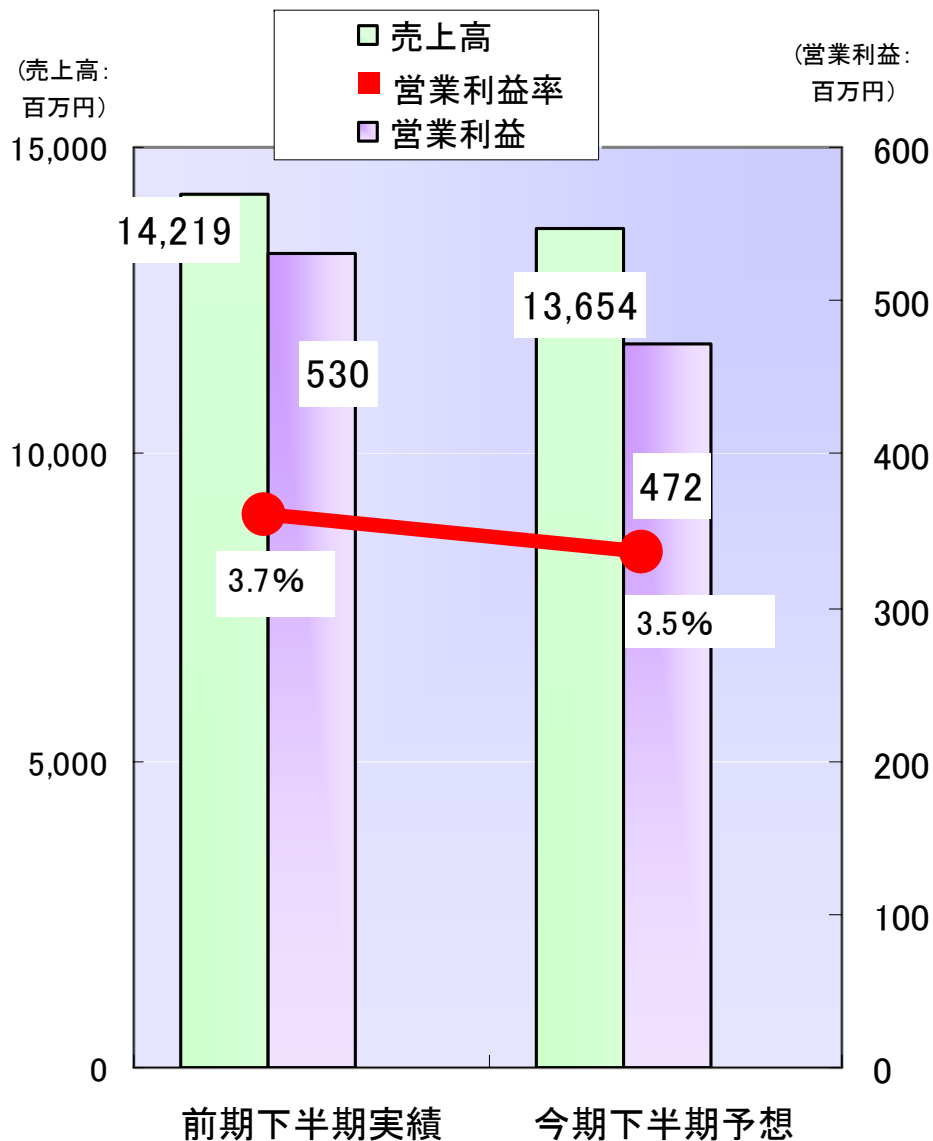
### 【冷蔵倉庫事業】

- ①利用運送事業の拡大
- ②業務の効率化と経費の削減の継続

### 【冷蔵運搬船事業】

- ①フィリピンバナナ輸送の年間契約維持
- ②経費削減の徹底
- ③スリム化した船隊による効率的配船

## 【鰹・鮪事業】



### 【鰹鮪加工及び販売事業】

- ① 大手回転寿司チェーン、量販店への拡販
- ② 極洋フレッシュ活用によるマグロタタキ他各種加工品の拡販
- ③ 国産養殖本鮪の売上拡大
  - ・10月よりキョクヨーマリン愛媛の「本鮪の極」本格出荷開始。

### 【海外まき網事業】

- ① 海外合併事業の本格稼動
- ② 運航効率向上
- ③ 経費削減

### 【養殖事業】

- ① 養殖技術の習得と適切な生簀管理
- ② ヨコワの安定確保に向けた体制見直し
- ③ 完全養殖事業の推進



## 【販売支援・管理】

☆海外工場品質管理強化

☆新規ブランド構築とコンシューマー市場への参入

☆物流経費節減

☆財務体質強化: キャッシュ・フローの改善、有利子負債の削減

## 5. 投資計画

		通期合計
極洋	生産設備増強	2億円
	養殖設備増強	1億円
	ソフトウェア関連	3億円
	その他	1億円
	計	7億円
関係会社	生産設備の増強、改修	6億円
	まき網船 設備新替他	1億円
	その他	1億円
	計	8億円



本資料は2012年9月末までの業績及び今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的として作成しており、必ずしも投資をお勧めするものではありません。

本資料に含まれる業績予想及び将来の予測は、現時点で入手される情報に基づくものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。したがって実際の業績は、様々な要因により、これらの予想と異なることがありますのでご承知おきください。



### 当資料に関する問い合わせ窓口

株式会社 極洋 企画部 電話03-5545-0703